

「医療特別警報の発出」及び「感染警戒レベル5への引き上げ」を受けて (市民の皆様・事業者の皆様へのお願い)

長野県内では、感染力の強いオミクロン株B A.5系統への置き換わりにより、連日、多数の新規陽性者が確認され、自宅・宿泊療養施設も含めた療養者数が1万人を超えました。また、7月27日現在の確保病床利用率は35.6%となり、このまま増加し続けると医療のひっ迫が懸念されることから、本日、長野県は、全県に「医療特別警報」を発出しました。

佐久圏域においては、本日(7月28日)333名、小諸市でも80名の陽性者が確認されましたが、これは、1日の感染者数としてはいずれも過去最多となり、圏域の感染警戒レベルが5へ引き上げられました。

本市としても、国や県の対応を踏まえ、改めて感染拡大防止に向けた最大限の取り組みを実施してまいりますので、市民・事業者等の皆様のご理解ご協力を切にお願いいたします。

○「感染警戒レベル5」に伴う市民の皆様・事業者の皆様へのお願い

1 重症化リスクが高い方の感染を防ぎましょう。

- ・重症化リスクが高い方(65歳以上の高齢者、基礎疾患がある方など)及びその同居者・身近で接する方は、混雑した場所、換気が不十分な場所等、感染リスクの高い場面・場所をできるだけ避け、感染しない、感染させない行動をお願いします。また、のどの痛み、せき、発熱等の症状がある場合は、速やかに診療・検査医療機関等へ電話で相談の上、受診してください。
- ・60歳以上の方、基礎疾患のある方等、医療従事者・高齢者施設の従事者等で3回目接種から5ケ月経過した方は、重症化予防につながる4回目のワクチン接種の検討をお願いします。

2 陽性者の増加に歯止めをかけましょう(社会経済活動維持のためにも重要です)。

- ・お一人おひとりが状況に応じた感染防止対策(適切なマスクの着用、換気など)を徹底してください。
- ・重症化リスクが低い方(65歳未満の方、基礎疾患がない方など)は、のどの痛み、せき、発熱等の症状がある場合は、外出を控え、症状が続く場合は、診療・検査医療機関等へ電話で相談の上、受診してください。
- ・帰省や旅行、イベント等に参加される方、中学・高校等の生徒及びその家族など、若い世代の皆様も、感染リスクを下げるための3回目までのワクチン接種の検討をお願いします。
- ・事業者の皆様は、業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」を改めて確認するなど、感染防止対策を徹底するようお願いいたします。

3 医療機関等の負荷を軽減しましょう。

- ・重症化リスクが低く、検査キット(薬事承認された抗原定性検査キット)をお持ちの方は、受診前に自ら検査することを推奨します。(但し、陰性でも感染していない確実な保証になりませんので、マスク着用等の感染防止対策は継続してください。)

令和4年7月28日

小諸市新型コロナウイルス感染症対策本部長
小諸市長 小泉俊博